

これまでの経過 1

- 2006年6月土地売却情報。
- 同年6月16日近隣9軒の住民からの陳情書提出。
- 8月2日旧小樽支店で日銀主催の住民への説明会開催。多くの反対意見が噴出。
- 2006年9月住民の集い開催。共同代表の参集と地区計画に向けた作戦会議開始。
- 2008年4月日銀より売却に向けた催促と事態の解決に向けた話し合い再開。
- 2008年5月日銀より合意文書案が示される。

これまでの経過 2

- 2008年5月27日合意文書案を元に地区計画の提案とアンケートを実施するために住民集会実施。
- 同年6月15日上記集会の結果を受けて「日銀行舎跡地まちづくり協議会」の発足。
- 翌日から地区計画の検討開始の賛同を得るためにエリア内全戸にヒアリング・アンケート調査実施。
- 6月15日協議会通信創刊号発行。8月24日協議会通信第2号発行
- 8月31日第一回日銀行舎跡地まちづくり協議会住民集会。地区計画の開始宣言実施。

地区計画の重要な事項

エリアの中に作ったまちづくりのルール(例えば建物の高さ)は現在住んでいる私達の建物にも適用されます。

最終的に合意したルールは地権者の合意を示す押印(実印)が必要になります。

日本銀行には合意案に異議申し立てを行わないことを要求します。

日銀行舎跡地まちづくり協議会の 意志決定の仕組み

共同代表による叩き台としての素案づくり



連絡網を活用した素案のお知らせ・御意見の聴取



必要に応じたまちづくり協議会集会の実施



住民合意の確認

まちづくり協議会の組織構成

- 共同代表（現在5人）
- 地区計画の賛同者（約90軒の方々）
- 地区計画の合意者（これから設定）

今後の予定

○界隈の建物の高さの実感

○この界隈に望ましい高さについて

これらを色々な視点から見ていき、規制の内容を具体化していきます。

私達の街、日銀行舎跡地境界隈



海とみなとが見渡せる我が町界隈

